

2014 年度 資生堂 月次売上動向

— 国内 12 月実績、海外 2014 年度第 4 四半期概況 —

New !

国内の足元状況	※当該月の翌月末に更新												最終更新日 2015/1/30
<国内・化粧品店頭売上前年増減率(%)>													(当社推計値)
2014 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	累計
化粧品計 (カウンセリング+セルフ)	-24	-14	-8	-7	-8	-5	-2	-1	-2				-8

【12 月の売上概況】

12 月の国内化粧品店頭売上は、第 3 四半期にイノベーションしたブランドが引き続き前年を上回り好調に推移したものの、全体の底上げまでには届かず、前年比-2%となりました。カウンセリング化粧品は、口紅の新製品では過去最高規模を記録した「マキアージュ」や、数多くの美容雑誌で「ベストコスメ」を受賞している「アルティミューン」が牽引するグローバルブランド「SHISEIDO」、使用感触が高い評価を受け継続購入に結び付いている「エリクシール」などが好調に推移し前年を上回ったものの、全体では僅かながら前年に届きませんでした。セルフ化粧品は、主力の「アクアレーベル」や「インテグレート」などが苦戦したことから前年を下回り、トイレットリーの店売上(卸から小売店への配荷金額)は、3月の刷新に向け拡大基調を作る第一弾として導入した「TSUBAKI」の冬季限定企画品「オイルヌーヴォー」は売上を拡大したものの、全体では前年に届きませんでした。

今後は、好調な「エリクシール」「マキアージュ」の更なる強化に加え、当社の技術的な最大の強みと言える美白領域での主力製品「HAKU」のライン化によりカウンセリング領域を確実に成長軌道に乗せるとともに、3月の「TSUBAKI」の商品・コミュニケーションの全面刷新によりトイレットリー領域の強化にも取り組みます。また、ブランドの強化にあたっては、本社から販売会社だけでなく、研究所や工場など全社が一体となって取り組む「ICHIGAN マーケティング」の推進により、店頭売上の拡大を実現していきます。

<国内・化粧品およびトイレットリー販売会社売上前年増減率(%)>													
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	累計
2014 年度	+8	-5	-11	-1	-14	-9	+22	-8	+2				-3

注:「国内の足元状況」は、2014 年 6 月実績より、販売会社売上前年増減率に加えて店頭売上前年増減率(当社推計値)を開示することとし、あわせて「概況コメント」は店頭売上に対するものに変更いたしました。

New !

海外の足元状況	※四半期に 1 度更新(更新月:1 月、4 月、7 月、10 月)												最終更新日 2015/1/30
【第 4 四半期(2014 年 10~12 月)の概況:現地通貨ベース】													
欧米の化粧品市場は、米州で個人消費の緩やかな成長とともに堅調に推移した一方、欧州では南欧が厳しい状況にあり、地域全体として前年より縮小しました。アジアの化粧品市場は、中国が成長性は鈍化しながらも引き続き拡大、その他のアジアにおいても緩やかな成長となりました。													
当社の 2014 年度第 4 四半期の海外売上は、米州、欧州が前年並みで推移した一方、アジア・オセアニアが前年を下回り、全体では前年を下回る実績となりました。地域別の概況は以下の通りです。													
○ 米州・・・「NARS」やフレグランスなどが好調を持続したものの、ZOTOS が前年を下回り、地域全体では前年並みとなりました。													
○ 欧州・・・新製品を発売したフレグランス事業が堅調に推移したものの、デクレオール・カリタブランドの売却に伴う売上減などにより、地域全体では前年並みとなりました。													
○ アジア・オセアニア・・・トラベルリテール事業は好調に推移したものの、中国を中心に店頭在庫の適正化を行った結果、地域全体では前年を下回りました。													
注1:「海外の足元状況」は、出荷ベースの売上に関するものです。													
注2:資生堂グループの海外子会社は 1~12 月を決算期としていますので、既に 2014 年度第 4 四半期を終了しています。													
注3:本資料における売上増減は、速報値を簡易的に集計したものであるため、連結決算で開示される実際の地域別売上の外貨ベース前年比とは内容が異なる可能性があります。													

※2014 年度第 3 四半期実績の詳細については、[こちら](#)をご参照ください。